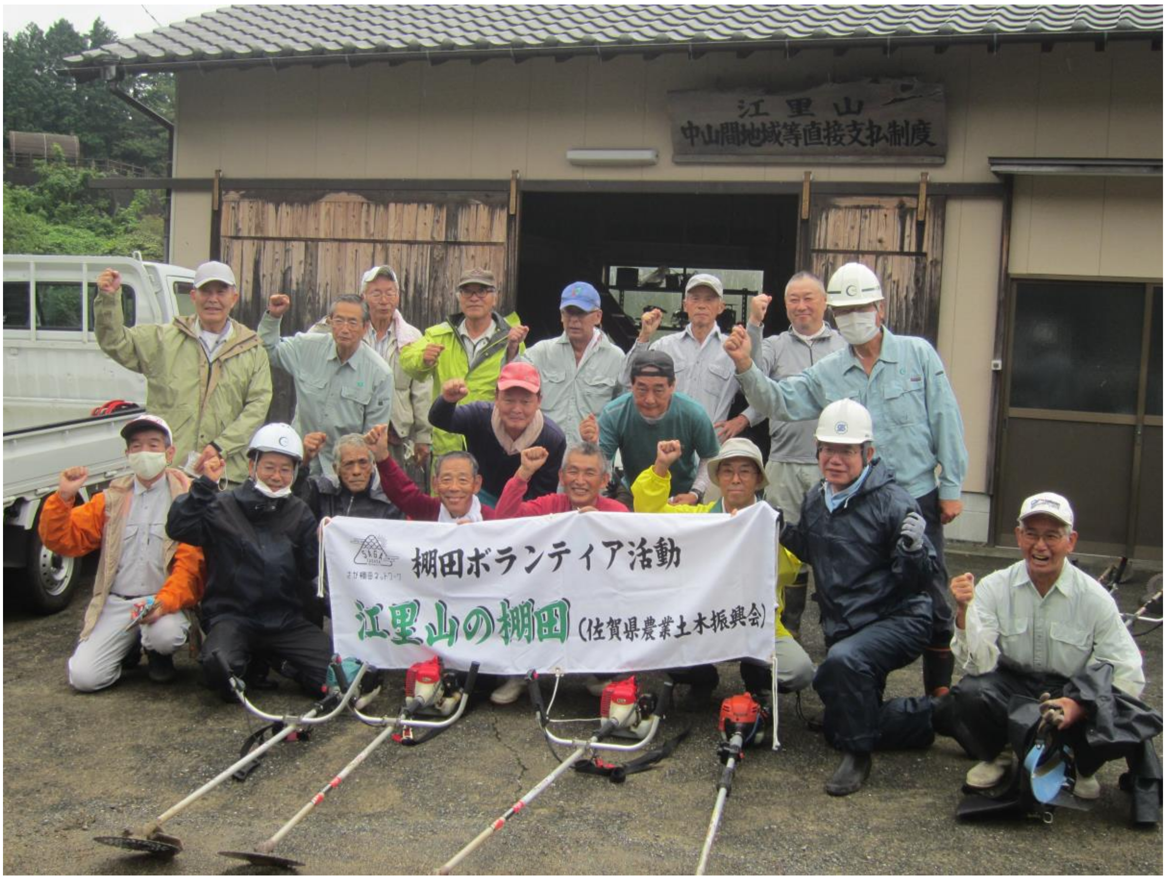
**小城市江里山地区**

## 棚田ボランティア　・草刈り作業（佐賀県農業土木振興会）に参加

**西日本総合コンサルタント株式会社**

佐賀県の農業土木職員ＯＢでつくる「佐賀県農業土木振興会」（牛草寛志会長、会員２０人）は９月１７日、彼岸花で有名な佐賀県遺産の「小城市・江里山の棚田」において棚田ボランティアとして耕作放棄された田圃等の草刈り作業を実施された。活動には会員13人が参加し、当社から内野政則常務取締役と山口鶴美技術管理部長の２名が参加しました。




（江里山地区の皆さんとボランティア参加者との集合写真・江里山公民館前）

当会は、令和２～４年度の３カ年間、江里山地区と草刈り作業〈年２回〉の棚田ボランティア協定を締結されています。

今回、牛草寛志会長をはじめ１３名の参加で今年第２回目の作業実施となりました。江里山地区は、約２３０メートルの標高に位置し、高齢化、離農等で耕作放棄地が増加し、棚田の維持等が課題となっています。

既に棚田では丁度、道端や田んぼの畦畔に赤の彼岸花が咲き始め、稲穂の黄色とのコントラストが美しく参加者から「空気がとてもきれい、おいしい、心

が癒される」といった言葉が聞かれた。
　秋分の日に毎年、「江里山彼岸花まつり」が開催されるが、今年は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止となった。　しかし、彼岸花が咲き始めたことから、カメラを抱えた花見客が訪れている。

（牛草寛志会長の挨拶）

（江里口博区長の挨拶と作業説明）

　作業は、２班に分かれ、地区の役員と一緒に耕作が行われていない約２０枚程度の田圃を草刈り機によっての草刈り作業、イノシシ防護柵のカズラ撤去等を行い快い汗をかいた。昼食は、公民館で弁当を美味しく頂き、江里山地区の江里口博会長らと参加者との間で棚田の課題、感想、意見交換などが活発に行われた。

耕作放棄地の草刈り作業

作業休憩　　　　　　　　ちょっとひと息

昼食・意見交換（江里山公民館）

江里山棚田の彼岸花